

自己評価

学校運営計画(4月)		評価(総合)
学校運営方針	校訓「質実剛健」「自主創造」に掲げる精神に基づき、心身ともに逞しく文武両道を身につけ、氣高さを追求する豊かな人間性と創造性を備えた生徒を育成する。	A
昨年度の成果と課題	年度重点目標 全ての教育活動において、礼節と主体性を兼ね備えた生徒の育成を図る。 全ての教育活動において、言語環境を適切に整備し、人権教育を推進・充実させる。 全ての教育活動において、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、深い学びにつながる授業を実践する。 授業と評価方法の改善により、指導と評価の一体化を図り、新たな時代が求める学力を向上させる。 地域に根ざした中高一貫キャリアプログラム「嘉穂Dream Compass」を軸として、生徒の個性や能力を引き出し、生徒の第一希望進路の実現を図る。	
具体的目標	具体的方策	
評価(3月)	次年度の主な課題	
教務部	・校務支援システムの調整を適切に行う。 ・中高での計画的・系統的な運営ができるように、高校との連携を密に行う。	
研修部	・問題解決や自らの考えを広げるような視点に立った考查問題を作成させ、定期考查の質の向上を図る。 ・指導と評価の一体化を図り、生徒の学習改善や教師の授業改善につなげる。	A B
キャリア教育部	・「深い学びにつながる問い」を全教員のテーマとした授業および研究授業を実施する。 ・公開授業に向けて、計画的に研修を実施する。 ・公開授業を通して、「深い学び」を達成された生徒像を検討することによって、授業改善につなげる。 ・各教科の授業改善に向けて、授業アンケートを年2回実施する。 ・各授業でICT機器をスムーズに活用できるように、管理していく。 ・中高で相互に授業参観できるように計画・実施する。	A A A B A B
生徒指導部	・一人一研、課題研究の課題探究活動を充実させる。 ・修学旅行、宿泊研修、大学訪問などの体験活動による学びを充実させる。 ・課題設定、情報収集、情報整理・分析、まとめ・表現など探究の過程を繰り返し設定し、自分を見つめさせる。 ・αタイムや放課後学習など個に応じた支援を充実させる。 ・各種コンクールの積極的奨励と指導を行う。	A A B A
人権特別支援教育部	・全校生徒が挨拶ができる環境づくりを行い、挨拶・静止礼を徹底させる。 ・学級活動や道徳の時間を中心に、すべての教育活動において、相手を思いやる心を育てる。 ・生徒会を中心に、行事や委員会活動を生徒中心に活動させ、リーダー性を育む。 ・部活動を課題意識を持たせ、効率的に活動に取り組みさせる。 ・潤陵祭・大運動会などの学校行事を生徒自ら主体的に行えるように、改善・修正を行う。	A A B A B
第Ⅰ学年	・言語環境を整え、自己・他者との感情交流の中で生徒が安心して生活できるようにする。 ・全ての教育活動において、多様性の時代に求められる価値観や態度について学びを深めさせる。 ・タイミングを捉えた指導や声掛けを行い、生徒が自他の人権を守って行動することができるようにする。 ・定期的到校内委員会を実施し、全職員で生徒の実態把握、指導の共通認識を図る。 ・スクールカウンセラーや専門機関と連携し、個に応じた支援ができるように指導工夫・改善に努める。 ・教育相談やアンケートを行い、生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握して生徒の個性を伸長する。	B B A A A B
第Ⅱ学年	・繰り返し小テストやノートチェックを行い、学力の基礎・基本の定着を図る。 ・道徳の時間や学活の充実を図り、相手を思いやる心を育成し、集団として高め合える人間関係作りを努める。 ・グループエンカウンターなどの参加型学習を取り入れ、自己表現を大切にしたい機会を多く取り入れる。	B A A
第Ⅲ学年	・学校の教育活動全体を通して、他者を思いやる心を育て、その場にふさわしい言動をとる生徒を育成する。 ・基礎・基本の定着を図り、生徒が共に学び課題解決に取り組む機会を取り入れる。 ・課題研究や宿泊研修等を通して、集団における自分の役割を理解しようとする態度を養う。 ・生徒会で運営する活動の他に生徒から委員を募集し、原案の作成や提案などができるようにする。 ・(学校として)理想とするあいさつの姿、現在のあいさつの状況、理想のあいさつができない理由などの調査や分析を行い、生活委員やHR委員にも働きかけて改善案を作成し、実施する。	B A B A B

学校関係者評価

評価(総合)	項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
A	自己評価は A 適切である B 概ね適切である C やや不適切である D 不適切である	
B	基礎・基本の学力を身に付けさせることとともに深い学びが実現できるように研修部と連携を深めてもらいたい。そして、取組(D)実施後の評価(C)から改善(A)の充実を期待している。	
A	生徒や保護者への公開授業アンケートの意見は、是非授業改善に活用してほしい。中学校の取組と高校の取組を連携して行ってもらいたい。	
A	体験活動の充実が図られている。キャリア教育の充実のために個に応じた支援は、本当に大変だと思う。先生方は丁寧に対応されている。	
A	学校外では、挨拶等大変素晴らしい生徒の姿を多く見ることが出来る。校内においても生徒が主体的な活動ができるように様々な場面で工夫されている。	
A	全ての教育活動を通して培ってもらいたい。授業の中の友だちとのやりとりや教材そのものも人権の視点から見つめてもらいたい。	
A	基礎・基本の学力を身に付けさせることとともに深い学びが実現できるように研修部と連携を深めてもらいたい。	
A	集団への帰属意識を高め、生徒一人一人の役割を自覚させてほしい。	
B	積極的に活動を仕組み、リーダー性を養い、生徒一人一人の活躍の場を増やしてもらいたい。	

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策  
 ・基礎・基本の学力を身に付けさせることとともに深い学びが実現できるように研修部・学年部と連携し、取組を深化させる。  
 ・状況を見極めながら、本校の特徴である体験活動の再開や充実を図る。  
 ・より生徒の主体性やリーダー性を養うために、活躍の場を増やしたり活動での役割分担をしっかりと行ったりする。

評価項目以外のものに関する意見